



## 平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月6日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニックトー  
コード番号 5367 URL <http://www.nikkato.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長  
定時株主総会開催予定日 平成28年6月17日  
有価証券報告書提出予定日 平成28年6月20日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 西村 隆  
(氏名) 土井 祐二  
TEL 072-238-3641  
配当支払開始予定日 平成28年6月20日

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期の業績(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期	8,577	△2.2	595	35.0	633	35.3	412	44.7
27年3月期	8,773	10.9	441	27.1	468	43.2	285	48.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
28年3月期	34.56	—	4.5	5.0	6.9
27年3月期	23.88	—	3.2	3.9	5.0

(参考) 持分法投資損益 28年3月期 ー百万円 27年3月期 ー百万円

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年3月期	12,700	772.91	9,226	772.91	72.6	772.91
27年3月期	12,560	760.96	9,084	760.96	72.3	760.96

(参考) 自己資本 28年3月期 9,226百万円 27年3月期 9,084百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
28年3月期	1,638	△1,286	△154	1,821
27年3月期	261	△198	△141	1,623

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	119	41.9	1.3
28年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00	143	34.7	1.6
29年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00		34.1	

### 3. 平成29年 3月期の業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	6.0	320	△1.6	330	△2.8	210	△2.4	17.59
通期	9,100	6.1	630	5.9	650	2.6	420	1.8	35.19

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

28年3月期	12,135,695 株	27年3月期	12,135,695 株
28年3月期	198,807 株	27年3月期	198,673 株
28年3月期	11,936,934 株	27年3月期	11,937,129 株

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(4) 事業等のリスク	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 企業集団の状況	4
3. 経営方針	5
(1) 会社の経営の基本方針	5
(2) 目標とする経営指標	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略	5
(4) 会社の対処すべき課題	5
(5) その他、会社の経営上重要な事項	5
4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
5. 財務諸表	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	9
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(持分法損益等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
6. その他	16
(1) 生産、受注及び販売の状況	16
(2) 役員の異動	16

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

## (1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

## ・当期の業績全般の概況

当事業年度におけるわが国経済は、前半につきましては前事業年度よりの円安が継続したことで、輸出関連の大企業を中心に好調を維持いたしました。また、インバウンドの増加も著しく、これによる国内消費も関連分野には多大な恩恵がございました。しかしながら、これらの影響は中々全国的には行き渡らず、後半、特に年明けからは世界経済の先行き不安からの世界同時株安、そして円高に振れたことでの日銀「マイナス金利政策」も目立った効果を見ずに失速気味で終了いたしました。

このような状況のもとで、当社はセラミックス事業が特に期の前半で電子部品関連の設備投資が増えたことにより、大きく受注、売上共に伸びたことで、前年度のような大口物件がなかったエンジニアリング事業の落ち込みをカバーするだけでなく、利益面では大きく寄与いたしました。

この結果、受注面では8,753,261千円と前年同期比0.6%増加となり、売上高は8,577,318千円と同2.2%減収となりました。

損益面につきましては、当期はセラミックス事業の売上が回復したことにより工場の稼働率が上がったこと、エンジニアリング事業の低粗利物件がなかったことなどにより、営業利益は前年同期比35.0%増加の594,902千円、経常利益も同比35.3%増加の633,470千円と何れも2桁の増益となり、当初予想を大幅に上回ることが出来ました。

当期純利益も、これらのことに加え雇用者所得拡大促進税制等における税額控除の適用を受け、同比44.7%増加の412,493千円となりました。

## ・当期の事業別概況

## ①セラミックス事業

セラミックス事業の売上高は6,275,990千円と前年同期比7.6%の増収となりました。

なお、市場別による分類では、電子部品向け57.5%、化学・窯業・鉄鋼向け14.9%、機械・ベアリング向け9.0%とばりました。

## ②エンジニアリング事業

エンジニアリング事業につきましては、前述いたしましたように当期は大口物件がなかったことから売上高は2,301,327千円と前年度比21.8%の大幅な減収となりました。

なお、市場別による分類では当期はかなり分散し、電子部品向けが38.2%、環境・エネルギー向け23.6%、半導体向け12.2%、次いで化学・窯業・鉄鋼向け6.8%と続きました。

(次期の見通し)

今後の見通しにつきましては、昨年までの景況感が大手企業でも一変し、厳しい状況が予想されます。このような予断を許さない中で、当社は新規分野への積極的な展開でさらなる成長を目指し、全社をあげて取り組んでいく所存でございます。

平成29年3月期の業績予想につきましては、売上高91億円、営業利益6億3千万円、経常利益6億5千万円、当期純利益4億2千万円を予定しております。

なお、本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

(中期経営計画等の進捗状況)

当事業年度は、前半が主力のセラミックス事業が予算どおりの順調な業績で推移し、利益面では予算を上回る状況で推移しました。一方のエンジニアリング事業が予算を大きく下回る状況となりましたため、期中で減収増益に計画修正をしましたが、後半は順調な業績が続き、修正計画比増収増益の業績で着地しました。今年以降はセラミックス事業で新規大口受注もあり増収増益の計画としておりますが、昨年度策定した中期計画比ではエンジニアリング事業を減収の計画としておりますので、それぞれ各年度を減収増益の計画としております。

## (目標とする経営指標の達成状況)

経営指標として、自己資本当期純利益率（ROE）と1株当たり当期純利益（EPS）を重視しております。目標数値はROE8%以上、EPS50円においております。

当事業年度におきましては、計画しておりました数値でも上記目標数値には届かず、今後中長期的な視点で収益向上策を策定し、実現に向けて推進してまいります。

## (2) 財政状態に関する分析

## (資産、負債、純資産及びキャッシュ・フローの状況に関する分析)

## ・資産、負債、純資産の状況

総資産は、流動資産が前期末比1.5%減少しましたが、固定資産が投資有価証券の増加により前期末比5.3%増加しましたため、前期末比1.1%増の12,699,986千円となりました。

負債につきましては、流動負債が未払金の増加により前期末比3.4%増となりましたが、固定負債が長期借入金と繰延税金負債が大きく減少し前期末比21.1%減となりましたため、前期末比0.1%減少し3,473,816千円となりました。

純資産は、株価の下落でその他有価証券評価差額金は減少しましたが、内部留保の蓄積による利益剰余金の増加でカバーし、前期末比1.6%増の9,226,170千円となりました。

## ・キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物は1,820,764千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

営業活動におけるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益の増加に加え、大口売掛債権回収による売上債権の大幅減少により、前期末比1,376,993千円増加の1,637,914千円のプラスとなりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得に加え、余剰資金の運用で投資有価証券の取得を大幅に増加させましたため、前期末比1,088,015千円減の1,286,347千円のマイナスとなりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、前期末比12,809千円減の153,580千円のマイナスとなりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
自己資本比率(%)	77.1	75.2	72.3	72.6
時価ベースの自己資本比率(%)	46.9	42.3	38.7	35.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	140.5	79.8	305.0	46.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	54.5	90.3	26.0	174.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 各指標は、いずれも財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、経営資源の効率的な運用で企業基盤と財務体質の強化を図り、株主各位に中期的な配当の維持に努め、適正な利益還元を行うことを基本としております。

利益配当につきましては、上記観点から配当性向は30～50%を目安として配当金を決定し、株主各位のご期待に沿うよう努めてまいります。

当期の配当につきましては、平成28年3月18日付にて開示しました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」の通り、期末配当を当初予想の1株当たり5円から2円増配の7円とし、第2四半期末配当5円と合わせまして年12円とさせていただきます。

また、次期の配当につきましては、1株につき年12円を予定しております。

(4) 事業等のリスク

最近の有価証券報告書（平成27年6月22日提出）における「事業等のリスク」から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該有価証券報告書は、次のURLからご覧頂くことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.nikkato.co.jp/>

(金融庁EDINETホームページ)

<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 企業集団の状況

最近の有価証券報告書（平成27年6月22日提出）における「事業の内容」及び「関係会社の状況」から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該有価証券報告書は、次のURLからご覧頂くことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.nikkato.co.jp/>

(金融庁EDINETホームページ)

<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>

### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社、「経営理念」に基づき、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて、科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献することを基本としています。

また、独自技術を磨き時代に即応した商品を環境保全に努めて効率よく生産し、適正な価格で販売し、株主各位、顧客、従業員並びに地域社会に貢献してまいります。

さらに、企業基盤の強化と業績の向上を図り、企業価値を高めることに最善を尽くしますと共に、経営情報のスピーディな開示に努めてまいります。

#### (2) 目標とする経営指標

経営指標として、自己資本当期純利益率（ROE）と1株当たり当期純利益（EPS）を重視しております。目標数値はROE8%以上、EPS50円にしております。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略

当社は、得意とする特定分野のセラミックス並びに計測機器と加熱装置のリーディングカンパニーを目指しております。

当社の中期的な経営戦略は、毎年見直しを行っており、向こう3年間の「中期計画」に基づいて進めてまいります。

その重点課題は次のとおりであります。

- ① 環境・省エネ用セラミックス並びに耐摩耗セラミックスにおけるY T Zボールおよび粉砕機用部材の生産能力増強と生産効率向上。
- ② 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と生産改革による生産合理化の推進。
- ③ マーケットニーズに対応したセラミックス新製品およびエンジニアリング新商品の開発と拡販。
- ④ 内部統制システムの構築に基づくリスク管理の強化や内部監査の充実によるさらなる内部管理体制の整備。

#### (4) 会社の対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、昨年までの景況感が大手企業でも一変し、厳しい状況が予想されます。このような予断を許さない中で、当社は新規分野への積極的な展開でさらなる成長を目指し、全社をあげて取り組んでいく所存でございます。

まず、合理化につきましては、あらゆる経費の節減努力は勿論のこと、生産面における温室効果ガス排出量の削減に注力するとともに、生産改革によるコストダウンを推進いたします。

新製品、新商品分野では、環境・省エネ用セラミックスの開発を重点に、このための積極的な設備投資を実施いたします。

最後に社内管理体制では、コーポレートガバナンスのさらなる充実に努め、内部統制システムの運用強化を図ってまいります。

#### (5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

### 4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業は、現在、ほぼ国内に限定されており海外での事業展開がないこと及び子会社がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移、また同業他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえ、IFRSの検討を進める方針であります。

## 5. 財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,762,148	1,810,123
受取手形	1,697,766	975,656
電子記録債権	156,359	257,721
売掛金	1,899,119	1,862,866
有価証券	30,630	431,846
商品	44,569	40,932
製品	528,123	564,591
原材料	162,262	156,691
仕掛品	1,119,250	1,153,084
貯蔵品	143,177	148,125
仮払金	1,061	1,487
未収入金	3,972	5,257
前払金	-	21,600
前払費用	19,019	19,715
繰延税金資産	79,355	78,663
貸倒引当金	△700	△600
流動資産合計	7,646,115	7,527,763
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,768,182	3,813,239
減価償却累計額	△2,239,058	△2,348,592
建物(純額)	1,529,124	1,464,646
構築物	202,362	203,292
減価償却累計額	△136,214	△141,483
構築物(純額)	66,147	61,808
機械及び装置	6,550,832	6,707,126
減価償却累計額	△5,544,187	△5,702,229
機械及び装置(純額)	1,006,645	1,004,897
車両運搬具	74,063	73,977
減価償却累計額	△59,585	△64,546
車両運搬具(純額)	14,477	9,431
工具、器具及び備品	1,049,194	1,091,520
減価償却累計額	△929,744	△984,689
工具、器具及び備品(純額)	119,450	106,831
土地	495,761	495,761
建設仮勘定	8,890	7,222
有形固定資産合計	3,240,496	3,150,599
無形固定資産		
ソフトウェア	12,730	7,048
電話加入権	4,132	4,132
その他	19,045	61,712
無形固定資産合計	35,908	72,893



(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,522,335	1,849,036
従業員に対する長期貸付金	1,720	942
長期前払費用	8,729	3,846
前払年金費用	38,993	27,566
敷金及び保証金	34,592	34,087
事業保険積立金	30,866	33,249
破産更生債権等	280	0
貸倒引当金	△280	-
投資その他の資産合計	1,637,239	1,948,729
<b>固定資産合計</b>	<b>4,913,643</b>	<b>5,172,222</b>
<b>資産合計</b>	<b>12,559,758</b>	<b>12,699,986</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
電子記録債務	366,228	551,670
買掛金	1,265,515	1,071,015
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	184,008	184,008
未払金	294,729	475,338
未払法人税等	95,645	137,591
未払消費税等	117,793	23,481
未払費用	635	617
前受金	14,702	6,020
預り金	17,713	15,268
賞与引当金	212,000	201,000
役員賞与引当金	15,820	19,888
流動負債合計	2,984,791	3,085,898
<b>固定負債</b>		
長期借入金	140,548	106,548
役員退職慰労引当金	129,107	142,408
長期預り保証金	71,199	71,706
資産除去債務	38,688	39,347
繰延税金負債	111,850	27,907
固定負債合計	491,393	387,917
<b>負債合計</b>	<b>3,476,185</b>	<b>3,473,816</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金		
資本準備金	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	137,017	137,017
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金		
利益準備金	205,810	205,810
その他利益剰余金		
別途積立金	5,100,000	5,100,000
繰越利益剰余金	998,256	1,291,379
その他利益剰余金合計	6,098,256	6,391,379
利益剰余金	6,304,066	6,597,189
自己株式	△86,418	△86,475
株主資本合計	8,763,826	9,056,893
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	319,747	169,276
評価・換算差額等合計	319,747	169,276
純資産合計	9,083,573	9,226,170
負債純資産合計	12,559,758	12,699,986

## (2) 損益計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
<b>売上高</b>		
製品売上高	5,831,134	6,275,990
商品売上高	2,942,004	2,301,327
売上高合計	8,773,139	8,577,318
<b>売上原価</b>		
製品期首たな卸高	560,097	528,123
商品期首たな卸高	34,269	44,569
当期製品製造原価	4,438,649	4,716,946
当期製品仕入高	173,668	186,260
当期商品仕入高	2,593,801	1,929,542
製品評価損	10,146	1,949
商品評価損	27	145
合計	7,810,661	7,407,537
製品期末たな卸高	528,123	564,591
商品期末たな卸高	44,569	40,932
他勘定振替高	78,479	45,023
売上原価合計	7,159,489	6,756,990
売上総利益	1,613,649	1,820,327
販売費及び一般管理費	1,172,952	1,225,425
営業利益	440,697	594,902
<b>営業外収益</b>		
受取利息	1,956	1,608
有価証券利息	204	1,122
受取配当金	28,843	34,005
受取賃貸料	5,529	6,656
その他	8,437	8,871
営業外収益合計	44,972	52,263
<b>営業外費用</b>		
支払利息	10,030	9,402
コミットメントフィー	4,277	4,277
支払手数料	3,000	-
その他	280	14
営業外費用合計	17,589	13,695
経常利益	468,080	633,470
<b>特別損失</b>		
固定資産廃棄損	10,697	5,993
貸倒損失	-	12,478
特別損失合計	10,697	18,472
税引前当期純利益	457,382	614,997
法人税、住民税及び事業税	161,000	207,000
法人税等調整額	11,317	△4,495
法人税等合計	172,317	202,504
当期純利益	285,064	412,493

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	856,438	6,162,248
当期変動額								
剰余金の配当							△143,246	△143,246
当期純利益							285,064	285,064
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	141,818	141,818
当期末残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	998,256	6,304,066

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△86,295	8,622,131	154,967	154,967	8,777,099
当期変動額					
剰余金の配当		△143,246			△143,246
当期純利益		285,064			285,064
自己株式の取得	△123	△123			△123
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			164,780	164,780	164,780
当期変動額合計	△123	141,694	164,780	164,780	306,474
当期末残高	△86,418	8,763,826	319,747	319,747	9,083,573

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	998,256	6,304,066
当期変動額								
剰余金の配当							△119,369	△119,369
当期純利益							412,493	412,493
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	293,123	293,123
当期末残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	1,291,379	6,597,189

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△86,418	8,763,826	319,747	319,747	9,083,573
当期変動額					
剰余金の配当		△119,369			△119,369
当期純利益		412,493			412,493
自己株式の取得	△56	△56			△56
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△150,470	△150,470	△150,470
当期変動額合計	△56	293,067	△150,470	△150,470	142,596
当期末残高	△86,475	9,056,893	169,276	169,276	9,226,170

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	457,382	614,997
減価償却費	511,956	504,569
貸倒引当金の増減額(△は減少)	480	△380
受取利息及び受取配当金	△31,004	△36,736
支払利息	10,030	9,402
投資有価証券売却損益(△は益)	0	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,993	-
前払年金費用の増減額(△は増加)	△38,993	11,426
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,301	13,301
貸倒損失	-	12,478
固定資産廃棄損	10,697	5,993
売上債権の増減額(△は増加)	△1,018,740	644,522
たな卸資産の増減額(△は増加)	71,717	△66,043
その他の資産の増減額(△は増加)	3,853	△18,713
仕入債務の増減額(△は減少)	300,801	△9,058
未払消費税等の増減額(△は減少)	59,893	△94,312
その他の負債の増減額(△は減少)	57,191	189,002
小計	401,575	1,780,451
利息及び配当金の受取額	30,651	37,716
利息の支払額	△10,224	△9,325
法人税等の支払額	△161,081	△170,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	260,921	1,637,914
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	-	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△179,145	△434,243
投資有価証券の取得による支出	△101,585	△858,337
投資有価証券の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	△1,000	-
貸付金の回収による収入	924	778
定期預金の払戻による収入	100,000	150,000
無形固定資産の取得による支出	△16,351	△42,667
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△1,174	△1,877
投資活動によるキャッシュ・フロー	△198,332	△1,286,347
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△296,940	△234,000
自己株式の取得による支出	△123	△56
配当金の支払額	△143,707	△119,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,771	△153,580
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△78,182	197,985
現金及び現金同等物の期首残高	1,700,961	1,622,778
現金及び現金同等物の期末残高	1,622,778	1,820,764

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業内容としてはセラミックス事業とエンジニアリング事業に大別されます。

セラミックス事業は、工業用セラミックス製品を当社、堺工場および東山工場で製造し販売するもので、当社の製品は、ほとんどがエンドユーザーである電子部品、食品、薬品、塗料等の各メーカーにおける生産工程で使用されるセラミックス製の道具類、備品、機械部品等の消耗品であります。

エンジニアリング事業は、製造工場を持たず、加熱装置や計測機器等を商品として仕入れ販売しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	セラミックス 事業	エンジニア リング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,831,134	2,942,004	8,773,139	—	8,773,139
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,831,134	2,942,004	8,773,139	—	8,773,139
セグメント利益	370,280	70,417	440,697	—	440,697
セグメント資産	7,982,908	2,391,632	10,374,540	2,185,217	12,559,758
その他の項目					
減価償却費	503,454	8,502	511,956	—	511,956
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	267,247	5,233	272,480	—	272,480

(注) 1. セグメント資産の調整額2,185,217千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供していないため記載しておりません。

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	セラミックス 事業	エンジニア リング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,275,990	2,301,327	8,577,318	—	8,577,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,275,990	2,301,327	8,577,318	—	8,577,318
セグメント利益	545,167	49,734	594,902	—	594,902
セグメント資産	7,972,104	1,715,784	9,687,888	3,012,098	12,699,986
その他の項目					
減価償却費	496,630	7,939	504,569	—	504,569
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	451,900	5,752	457,653	—	457,653

- (注) 1. セグメント資産の調整額3,012,098千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。  
2. セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供していないため記載しておりません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
1株当たり純資産額	760.96円	772.91円
1株当たり当期純利益金額	23.88円	34.56円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	285,064	412,493
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	285,064	412,493
普通株式の期中平均株式数(株)	11,937,129	11,936,934

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,083,573	9,226,170
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	9,083,573	9,226,170
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,937,022	11,936,888

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 6. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

当事業年度における生産実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)
セラミックス事業	6,187,281	9.7

- (注) 1. 金額は売価換算値で示してあります。  
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## 2 仕入実績

当事業年度における仕入実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)
セラミックス事業	186,260	7.3
エンジニアリング事業	1,929,542	△25.6
合計	2,115,803	△23.5

- (注) 1. 金額は仕入価格で示してあります。  
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## 3 受注状況

当事業年度における受注状況をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
セラミックス事業	6,429,750	5.2	1,722,185	9.8
エンジニアリング事業	2,323,511	△10.3	357,891	6.6
合計	8,753,261	0.6	2,080,077	9.2

- (注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## 4 販売実績

当事業年度における販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)
セラミックス事業	6,275,990	7.6
エンジニアリング事業	2,301,327	△21.8
合計	8,577,318	△2.2

- (注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 役員の異動

## 1 代表者の異動

該当事項はありません。

## 2 その他の役員の異動

平成28年3月18日付にて「役員等の異動に関するお知らせ」を開示しておりますのでご覧ください。